

令和七年 特別公開

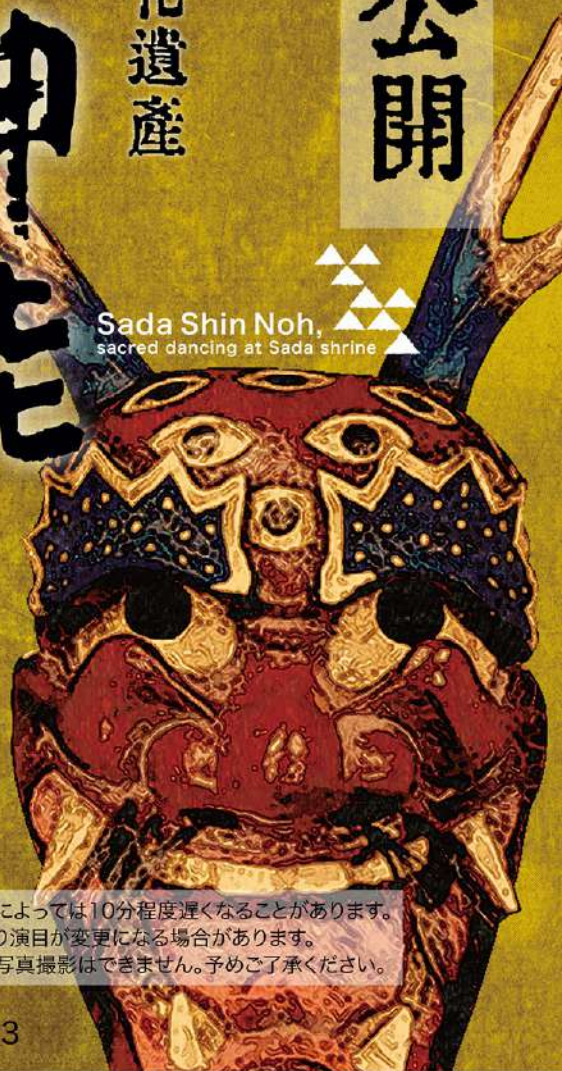
ユネスコ無形文化遺産

佐陀神能

Sada Shin Noh, sacred dancing at Sada shrine



現代に継承される 出雲神樂



公開日 2025年

4/12(土) 5/10(土)

時間 19:00 ~ 20:30

※演目内容によっては10分程度遅くなる場合があります。
※都合により演目が変更になる場合があります。
※会場での写真撮影はできません。予めご了承ください。

会場 佐太神社 舞殿 島根県松江市鹿島町佐陀宮内73

席料 個人 2,000円 (中学生以下無料)

団体 1,800円 (20名以上)

【お支払い方法】現金 公開日当日、現地でのお支払いをお願い致します。

(一社)松江観光協会より後日、請求書を発送させていただきます。

ご予約方法

下記申込先までお電話にてご希望の日をご予約ください

募集人数 各100名

※個人受付：実施日の前日16時まで ※団体受付：実施日の7日前まで

【予約制】※定員に満たない場合は当日も可

※日程の変更は可能です。お問い合わせください。 ※路線バスの臨時運行はございません。

※各地から佐太神社までは、お客様ご自身で移動をお願いいたします。タクシー等のお手配をご希望の場合はご予約の際にご相談ください。

主催 一般社団法人 松江観光協会 後援 佐太神社・島根県・島根県教育委員会・松江市・松江市教育委員会・公益社団法人 全日本郷土芸能協会

お申込み・お問い合わせ先

一般社団法人 松江観光協会 ☎ (0852) 27-5843

島根県松江市中原町19 ※営業時間8:30~17:15 (土、日、祝、年末年始 休業)

FAX (0852) 26-6869 E-mail : mail@kankou-matsue.jp



御座替祭と佐陀神能

七座神事・式三番・神能の三部構成



佐太神社の御座替祭は御本殿三社をはじめ摂末社すべての御神座の莫座を取替えるお祭りです。御神座の莫座を新しく取替えることで神々の靈威が常に新しく続くとされ当社の数ある祭りの中でも最も重義とされ年毎の遷座祭ともいえる祭りです。

九月二十四日莫座を清め神々をお招きする為の七つの舞からなる「七座神事」、翌二十五日は御法楽として「式三番」、「日本書紀」の神話や神様の功績などを題材とした「神能」を舞殿にて執り行います。古くはこの祭に佐陀触下三群半の神職・巫女が参集奉仕する慣わしで「役目能」といわれていました。現在では佐太神社及び近郷諸社の神職と松江市内の有志による佐陀神能保存会によって伝承しています。

七座神事・式三番・神能を執り行う形式は近世初頭に当社で確立され、その形式は出雲国内の神楽はもとより多くの里神楽に影響を与えたと云われています。これらの神事舞を「佐陀神能」と呼んでおり、昭和五十一年に国の重要無形民俗文化財に指定され、平成二十三年にユネスコの無形文化遺産に登録されています。

令和七年 佐陀神能 特別公開演目

七座神事 清目
斎場を清める舞



4/12
(土)

神能 日本武
日本武命の「東夷征伐」を題材にした演目



神能 武甕槌
神話の「国譲り」に取材した演目



七座神事 勧請
神の降臨を願う舞



5/10
(土)

神能 大社
おおよし
佐太神社の縁起や神在月の由来を題材にした演目



神能 八重垣
やえがき
素盞鳴尊の八岐大蛇退治を題材にした演目



交通アクセス

〒690-0331 島根県松江市鹿島町佐陀宮内73

日本海 出雲空港 松江西ランプ 松江中央ランプ 松江玉造 松江西ランプ 東出雲IC 出雲IC 米子IC 米子西IC 米子空港 米子空港 大根島 中海 美保岡 島根町 加賀の瀬戸 島根町

- 山陰道 松江西ランプ～国道9号 / 城北西通り / 県道37号経由で約25分
- 松江だんだん道路 川津IC～県道21号 / 県道264号経由で約20分
- 松江だんだん道路 西尾IC～県道260号 / 城北西通り / 県道37号経由で約25分
- 出雲空港から車で約35分
- 米子空港から車で約45分

至 広島三次へ

佐太神社

八百万の神々が集う 神在の社
出雲國二ノ宮

本殿は豪壮な大社造りのお社が三殿並んでおり主祭神の佐太大神(猿田毘古大神)をはじめ十二柱の神々をお祀りしています。大社造りの三殿並立の社殿は国の重要文化財に指定されています。

写真撮影 阿禮 / 佐藤 俊和